

平成 2 8 年度

事業計画書・収支予算書

公益財団法人東松山市農業公社

平成28年度公益財団法人東松山市農業公社事業計画書  
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

## 1 基本方針

農業は安全で安心な食料の供給だけでなく、農山村地域の活力の維持、国土や自然環境の保全など多面的かつ公益的な機能を有するなど、国民の健康と暮らしを守る生命産業であり、豊かな市民生活の実現にとってかけがえのないものです。

公社は、平成26年4月1日に公益法人へと移行し、農地の効率的利用、担い手の育成・支援などの事業を通じて東松山市の農業振興を図るとともに、農村地域の健全な発展と農地のもつ公益的機能の維持・増進に努めております。

本市の農業は、高齢農家が稲作からリタイヤする一方、農地を借り受け規模拡大を図る水田農業の担い手が育っており、農産物直売所を核とする野菜生産農家の活力も高まっております。

昨年度は、下唐子地区と上野本地区において農業生産の効率化をめざす農地中間管理事業にかかる説明会を開催するほか、11月に新装オープンしたJA東松山農産物直売所「いなほてらす」へ出荷する直売農家の野菜苗生産を支援するとともに、栗ポロタンの加工品「ポロール」の製造販売に手掛けるなど、新たな局面で農業の振興に係わってまいりました。

今年度も引き続き、地域や担い手、組織に対する的確な支援を通じて東松山市農業の振興を図るため、行政や農協、農地中間管理機構との密接な連携の下、次の事業を行います。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 担い手育成・支援事業
- (3) 農業機械の有効利用に関する事業
- (4) 農作業受託事業
- (5) 地域農産物育成事業

## 2 実施計画

### (1) 農地利用集積円滑化事業

公社は、農業経営基盤強化促進法第11条の11第1項に基づき、東松山市から承認を受けた農地利用集積円滑化団体です。

農業従事者の高齢化や減少に伴い、経営規模の縮小を希望する農家や耕作放棄となる恐れのある農地を借入れ、規模拡大を志向する認定農業者や新規就農者に貸付けるなど、農地の利用調整と集積を進めます。

また、公益社団法人埼玉県農林公社(埼玉県農地中間管理機構)から委託を受け、市と協力して農地中間管理事業の業務にも取り組みます。

平成28年度農地利用集積目標（利用権設定）

	借 受	貸 付
件 数	150件	20件
面 積	33ha	33ha

(2) 担い手育成・支援事業

農業への新規参入希望者や帰農をめざす者を対象として、農業の専門知識や栽培技術の習得を目的に、農業塾（野菜コース、梨コース）を開催するほか、本格的な農業経営を学ぼうとする者を対象に、実践型の農業経営塾を開催し、担い手として育成します。

市と連携して就農相談会を開催するとともに、株式会社リクルートジョブズが主催する「新・農業人フェア」へ積極的に参加し、新たな担い手候補者の確保に努めます。

市内の若手農業者で構成する「東松山農業者会NEXT」（11名、平成25年度設立）のメンバーに対し、経営向上に向けた支援を行います。

平成28年度農業塾等開催目標

区 分	募集人員	講 師
農業塾（野菜コース）	10人	農業者、県職員、公社職員
農業塾（梨コース）	2人	農業者、県職員、公社職員
農業経営塾	2人	農業者

(3) 農業機械の有効利用に関する事業

担い手農家や新規就農者などを対象に、作業の省力化とコスト低減による農業生産の向上を図るため、農業機械利用規程に基づき下記機械の貸出を行います。

平成28年度農業機械貸出目標

機 械 名	貸出期間	貸出件数
トラクタ(40ps、50ps、ロータリ、フルモア)	通 年	10件
田植機(5条)	4月～6月	3件
コンバイン(4条)	8月～10月	8件
堆肥散布機(自走積込式)	通 年	5件
平畝整形同時マルチ	通 年	30件
乗用野菜移植機(2条)	通 年	10件
ハンマーナイフモア(歩行型)	通 年	30件
ラジコン動噴(自走式)	通 年	10件

乗用管理機（中耕、培土）	通 年	5 件
スライドモア（トラクタアタッチメント）	通 年	5 件
ソイルリフター（トラクタアタッチメント）	通 年	5 件
栗自動皮むき機	9 月～1 1 月	5 件
にんじん収穫機	通 年	3 件
畦草刈機	通 年	1 0 件
歩行型管理機	通 年	5 件
ブームスプレア（乗用管理機アタッチ）	通 年	5 件
フレームモア（トラクタアタッチメント）	通 年	1 0 件
クローラ運搬車	通 年	5 件

#### （４）農作業受託事業

田植や稲刈、草刈、農地管理など農家からの委託に対応するため、農作業受託規程に基づき農作業の受託を行います。作業に当たっては、JA埼玉中央農作業受託集団協議会と連携して、円滑に進めます。

平成28年度農作業受託目標

作 業 名	受託件数
田 植	3 件
稲 刈	1 0 件
農地管理（草刈など）	5 0 件

#### （５）地域農産物育成事業

##### ① 東松山市戦略作物育成事業

東松山市戦略作物研究会（14名、平成25年度設立）が取り組むスイートコーン、ハクサイ、ニンジンなどの生産拡大に向け、管理作業機の貸出や育苗ハウスの利用、生産物の販売などの支援を行います。

栽培技術の高度化・平準化、生産の効率化、販路の確保など、市と県農林振興センター、JA埼玉中央およびJA全農埼玉などと連携して、農業経営の安定と産地化を推進します。

##### ② ポロタン・オリーブ普及事業

ポロタン・オリーブ農園（約3ha、平成25年3月開設、栗700本、オリーブ200本）を、ポロタン・オリーブ管理組合（10名）と市民サポーター（30名）と連携し、適切に管理しております。

昨年度は、9月～10月に282.5kg（うちポロタン222.4kg、そ

の他 60.1kg) の収穫量があり、収穫後直ちに冷蔵庫(平成27年度設置)と横浜冷凍株式会社(鶴ヶ島市)の冷凍庫に入庫し、適切な品質管理の下、加工製造業者などに販売することができました。

引き続き、市と県農林振興センターの支援をいただき、栗とオリーブの収穫量の増加と安定した生育をめざし、適正な管理作業に努めます。

#### ③ 東松山農産物ブランド加工品育成事業

市の特産である、梨や栗ポロタンなどの加工製造と販売にかかる農工商連携を進め、農産物のブランド加工品として育てます。

昨年度は、栗ポロタンを使用したロールケーキ「ポロール」の加工製造を株式会社福島食品(毛呂山町)に依頼し、11月から農産物直売所で販売を開始することができました。

ポロール製造と販売の増加をめざし、引き続き関係者と連携するとともに、新たな加工品の育成も行います。

#### ④ 東松山農産物販売促進事業

市内で生産された農産物や加工品のカタログやチラシを作成するとともに、東松山市農業祭を始めとする各種イベントにおいて、農産物の販売拡大を支援します。

戦略作物については、市内の百貨店や量販店において市長トップセールスを実施するなど、販売促進活動に取り組みます。

#### ⑤ 地域農産物育成事業

市民に安心、安全な農産物を提供するため、JA埼玉中央農産物直売生産者組織からキャベツやブロッコリーなどの播種作業を受託し、生産者の負担軽減と生産拡大に結び付くよう支援します。

# 収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人 東松山市農業公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1.経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
基本財産運用益	164,000	300,000	△ 136,000
基本財産運用益(定期)	21,000	13,000	8,000
基本財産運用益(県債)	143,000	287,000	△ 144,000
事業収益	7,140,000	7,740,000	△ 600,000
農地利用集積円滑化事業収益	3,200,000	3,300,000	△ 100,000
担い手育成・支援事業収入	200,000	200,000	0
農業機械有効利用事業収益	440,000	380,000	60,000
農作業委託事業収益	2,000,000	2,760,000	△ 760,000
地域農産物育成事業収益	900,000	700,000	200,000
ポロタン・オリーブ普及事業収益	400,000	400,000	0
受取補助金等	28,534,000	27,001,000	1,533,000
受取東松山市補助金	28,534,000	27,001,000	1,533,000
雑収益	2,000	2,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	1,000	1,000	0
<b>経常収益計</b>	<b>35,840,000</b>	<b>35,043,000</b>	<b>797,000</b>
(2)経常費用		0	0
<b>事業費</b>	<b>31,018,565</b>	<b>28,626,300</b>	<b>2,392,265</b>
給料手当	7,741,600	7,385,600	356,000
臨時職員賃金	1,401,600	1,401,600	0
福利厚生費	200,000	160,000	40,000
法定福利費	532,800	463,200	69,600
通信運搬費	471,000	399,000	72,000
消耗品費	2,906,000	2,457,000	449,000
印刷製本費	646,000	736,000	△ 90,000
燃料費	583,000	548,000	35,000
賃借料	6,275,800	5,179,800	1,096,000
旅費交通費	40,000	30,000	10,000
負担金	100,000	100,000	0
食糧費	28,000	13,000	15,000
農作業委託費	500,000	649,000	△ 149,000
修繕費	2,106,000	1,998,000	108,000
光熱水料費	220,000	222,000	△ 2,000
保険料	410,000	107,000	303,000
工事請負費	0	400,000	△ 400,000
管理委託費	1,100,000	1,100,000	0
保管料	60,000	30,000	30,000
加工委託費	100,000	200,000	△ 100,000
感謝金	738,000	813,000	△ 75,000
減価償却費	4,858,765	4,234,100	624,665
<b>管理費</b>	<b>10,086,200</b>	<b>9,702,800</b>	<b>383,400</b>
役員報酬	4,016,000	4,205,000	△ 189,000
給料手当	1,935,400	1,846,400	89,000
臨時職員賃金	350,400	350,400	0
福利厚生費	50,000	40,000	10,000
法定福利費	133,200	115,800	17,400
旅費交通費	240,000	50,000	190,000
通信運搬費	66,000	58,000	8,000
交際費	60,000	30,000	30,000
消耗品費	59,000	77,000	△ 18,000
修繕費	534,000	584,000	△ 50,000
印刷製本費	40,000	40,000	0
燃料費	200,000	227,000	△ 27,000
食糧費	33,000	23,000	10,000
賃借料	369,200	375,200	△ 6,000
保険料	218,000	146,000	72,000
負担金	82,000	125,000	△ 43,000
委託費	1,010,000	950,000	60,000
研修費	100,000	70,000	30,000
租税公課	88,000	90,000	△ 2,000
光熱水料費	250,000	250,000	0
手数料	2,000	0	2,000
什器備品費	200,000	0	200,000
雑費	50,000	50,000	0
<b>経常費用計</b>	<b>41,104,765</b>	<b>36,329,100</b>	<b>2,775,665</b>
経常損益等調整前当期経常増減額	△ 5,264,765	△ 3,286,100	1,978,665
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 5,264,765</b>	<b>△ 3,286,100</b>	<b>1,978,665</b>
<b>2.経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益			
受取補助金等(機械)	0	7,999,000	△ 7,999,000
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>7,999,000</b>	<b>△ 7,999,000</b>
(2)経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>7,999,000</b>	<b>△ 7,999,000</b>
当期一般正味財産増減額	△ 5,264,765	4,712,900	△ 551,865
一般正味財産増減残高	163,979,562	159,266,662	4,712,900
一般正味財産期末残高	158,714,797	163,979,562	△ 5,264,765
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>158,714,797</b>	<b>163,979,562</b>	<b>△ 5,264,765</b>